

単元名 「PROGRAM5 The Story of Chocolate」

第3学年 読むこと

話すこと [発表]

◆本実践の概要

単元終末のパフォーマンステストに向けて本文を要約するために、全体で読む時間と、個別に読解する時間を設定して、自らの学習レベルに応じて、学習者用デジタル教科書の機能を選択し、概要・要点を捉える。

1 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標

読むこと	話すこと [発表]
社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた300語程度の文章の概要や要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して、聞いたり読んだりしたことについて、メモなどを活用しながら簡単な語句や文を用いて6~9文程度で伝えることができる。

2 単元の目標

ALT から出される課題を解決するために、チョコレートの歴史について書かれた英文の概要や要点を捉え、それらを自分で作成したメモなどを活用し、写真や絵を見ながら、伝えることができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	①関係代名詞に関する事項を理解している。 ②関係代名詞などの意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。	①ALT から出される課題を解決するために、チョコレートの歴史について書かれた英文の概要や要点を捉えている。	①ALT から出される課題を解決するために、チョコレートの歴史について書かれた英文の概要や要点を捉えようとしている。
話すこと [発表]	①関係代名詞主格 (who、which、that) の特徴やきまりを理解している。 ②チョコレートの歴史について考えたことや感じたことを、関係代名詞などを用いて伝える技能を身に付けている。	①ALT から出される課題を解決するために、チョコレートの歴史に関して、読んだことについて、自分で作成したメモなどを活用し、写真や絵を見ながら、その概要や要点を伝えている。	①ALT から出される課題を解決するために、チョコレートの歴史に関して、読んだことについて、自分で作成したメモなどを活用し、写真や絵を見ながら、その概要や要点を伝えようとしている。

4 単元について

本単元は、健たちがグループ発表で、チョコレートの歴史について調べた内容になっている。カカオが最初はどのように使われたのかを健とエミリーが話し合っている。その後、どのように私たちの知っているようなチョコレートとして食べられるようになったのか、健が発表する。続いて、エミリーがチョコレート産業の隠された部分について発表を行う内容となっている。それらの説明には主格を説明する関係代名詞 (who、which、

that) が用いられており、伝えたい事柄をより詳しく説明している。各 Think の本文の概要や要点を2～3文で書きため、そこから生徒が選択したメモを基に単元末に”Retelling”を行うことを目標としたい。

5 指導と評価の計画

	ねらい・学習活動(抜粋)	評価規準(評価方法)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・教科書の話聞いて、ワークシートにそれぞれの Think で何について話されているかを簡単な語句や文で記入する。 ・教科書の新出単語の意味を理解することができる。	★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。		
2 本時	・チョコレートの歴史についての会話文を読んだり聞いたりして、think1 で話されていることの要点を2～3文でワークシートに書く。			
3	・関係代名詞主格(who)などの意味や働きを理解し、詳しく説明された人物について、聞き取ったり書いたりすることができる。 ・3hintクイズを作り、少人数のグループの中で問題を出し合う。			
4	・チョコレートの歴史についてのスピーチを読んだり聞いたりして、think2 で話されていることの要点を2～3文でワークシートに書く。			
5	・関係代名詞主格(which)などの意味や働きを理解し、詳しく説明された都道府県や動物について、聞き取ったり書いたりすることができる。 ・2～3文程度の住みたい県の紹介を作り、少人数のグループの中で紹介し合う。			
6	・チョコレートのフェアトレードについてのスピーチを読んだり聞いたりして、think3 で話されていることの要点を2～3文でワークシートに書く。	○読①②	○読①	○読①
7	・関係代名詞主格(that)などの意味や働きを理解し、詳しく説明されたものや場所などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 ・2～3文程度で自分が行きたい場所について、少人数のグループで紹介し合う。	★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。		
8	単元終末課題 ・チョコレートの歴史について書かれた英文の概要や要点を捉え、それらを自分で作成したメモ(書きためた文から生徒が選択)などを活用し、写真や絵を見ながら、伝えることができる。			
後日	パフォーマンステスト(※)	○読①② ○発①②	○読① ○発①	○読① ○発①

6 本時の授業(第2時)

(1) 本時の目標

元々チョコレートがどのように使われていたのか、概要や要点を捉え、まとめたメモを基に要約文を書くことができる。

(2) 本時の実際

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準
	<p>○【Greeting】</p> <p>・あいさつをする。</p>	<p>・あいさつをする。</p>	
5分	<p>○【Warm-up】※帯活動</p> <p>・帯活動(Pro5 の弾丸インプットを2人1組で行う。片方が日本語の意味を読み上げ、その英単語をペアの生徒が答える。)</p>	<p>・活動を始める前に3分間単語を練習する時間を設定する。</p> <p>・練習はデジタル教科書の単語の読み上げ機能を使っても、ペアで確かめてもよいと伝える。</p>	<p>個別最適</p> <p>協働的</p>
10分	<p>Today's Goal:</p> <p>元々チョコレートがどのように使われていたのか、概要や要点を捉え、まとめたメモを基に要約文を書くことができる。</p>		
	<p>○【Activity 1】Oral introduction</p> <p>・教科書本文(5-1)の概要を</p> <p>Oral introductionと動画を用いてスキーマを形成する。</p> <p>①Oral introduction</p> <p>Q1:Who is he?</p> <p>Q2:Who is she?</p> <p>Q3:They are talking about ... what?</p> <p>②5-1 の動画を見る</p> <p>1回目:以下の内容【※概要を捉える問い】を基に情報を聞き取る。</p> <p>2回目:2回目は自分のデジタル教科書のムービーを再生する。</p> <p>※概要ワークシートの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健たちのクラスには○○が好きな人がたくさんいる。 ・元々、チョコレートは苦い○○。 ・メキシコでは、○○されたカカオが○○で作られていた。 ・人々はチョコレートを○○とみなしていた。 ・とても○○だったので、ほとんどの人が食べられなかった。 <p>③教科書の本文に目を通し、自分の知らない英単語にマーカーで線を引く。</p>	<p>・教師用デジタル教科書を利用する。</p> <p>・Oral introduction は T-S で行う。</p> <p>・教師用デジタル教科書の動画を1回再生する。</p> <p>・2回目を聞いたら班の中で聞き取れた内容をシェアする。</p> <div data-bbox="837 1630 1264 1854" data-label="Image"> </div> <p>文字付き動画を視聴し、概要を捉える姿</p> <p>・線を引いた単語をクラスでシェアし、意味を確認する。</p>	<p>個別最適</p> <p>協働的</p>

10分	<p>○【Activity 2】Reading Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容理解の問題を解く。 (個人→グループ) Question A: 熟語の確認(3分) Question B: 教科書のQ&A(3分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・答え方(単語で答えるのか、英文で答えるのか)は、生徒が選択する。 ・動画もしくは本文のみを見ながら回答するか、生徒が選択する。 ・解答の後、ペア→クラスの順で答えをシェアする。 	個別最適
13分	<p>○【Activity 3】音読練習</p> <ol style="list-style-type: none"> ①Listen & Repeat ②Stand up, reading in 2minutes and sit down ③Fast reading practice in 5 minutes 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習の補助を行う ・生徒の発音を聞きながらフィードバックを与える。 ・生徒個人が学習者用デジタル教科書のカラオケ機能を利用して教科書と同じ速さで読めるように促す。 	個別最適
12分	<p>○【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめとして2~3文で要約文を書く。 Question C・D:5-1の要約 ・重要だと思う語句を教科書から抜き出す。 ・抜き出した語句を使って、要約文を書く。 	 <p>要約の際に重要だと思う後に線を引いている姿</p>	協働的
	<p>○【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 	

7 実践を振り返って

本事例は、日々のリーディング活動における概要と要点を捉える実践である。コミュニケーションの場において受動的と思われるリーディング活動であるが、要点や概要、読み取った内容を誰かに伝えることを意識することで、生徒は主体的に活動をすることができた。

また、デジタル教科書の機能を活用することにより、一斉指導の時間、個別最適な学びの時間、そして協働的な学びの時間を設定することが容易になったように思える。デジタル教科書の使い方についてのガイダンスを行うことで、個のレベルに応じて、デジタル教科書の活用を工夫している姿が見られた。個人のペースで教材を使用し考えをまとめ、それを他の生徒とシェアすることによって、新しい視点を獲得する様子も目にすることができた。

本実践におけるポイントは、各活動が最終的に単元終末課題やパフォーマンステストにつながっている点である。生徒の主体的に学習に取り組む態度を感じ取ることができた。

その一方で、英語が苦手な生徒にとっては、和訳に頼ってしまう姿も見られた。教師が、努力を認める声を積極的にかけることやクラスメイトとの関わりを促すことで、一層、個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実が図れると感じた。